

令和7年度 授業改善プラン

地域名	東上総教育事務所	学校名	いすみ市立長者小学校
-----	----------	-----	------------

1. 課題（これまでの全国学力・学習状況調査結果等から）

○令和6年度全国学力・学習状況調査において、児童質問調査の個別最適な学びに関する質問に対しては、全国平均や県平均を下回る結果となった。このことから、児童一人一人の異なる教育的ニーズに合わせた児童主体の授業の在り方を探る必要があると考える。

2. 取組のポイント（仮説、改善方法等）

- 単元指導計画の中に「くすのきタイム」を位置付け、児童自らが学び合いの場や取り組む問題を選択することで、主体的に学習に取り組むことができるであろう。
- 学習計画表を活用し、見通しをもって学習に取り組ませることで、教師は児童の学びの様子を見取り、個別の支援や授業づくりに生かし、児童は計画・調整しながら学びに向かうことができるであろう。

3. 具体的な実践

- 単元指導計画の中に「くすのきタイム」を位置付け、児童自らが学び合いの場や取り組む問題を選択する時間を設ける。
- 既習事項を掲示するなど、教室環境を整える。
- 具体物や半具体物等を用意し、数学的な活動を行わせ、学習への理解を深めさせる。
- 単元計画表「学びの地図」を活用し、見通しをもって学習に取り組ませる。

4. 成果

- 「くすのきタイム」の取組によって、自分に合った学び方で学ぶ授業スタイルを全校で統一し、主体的に取り組む児童が増えた。
- ICTを活用し、児童同士がノートなどに書いた自分の考えを共有したり、友達の見解を参考にしたりすることができた。

◆担当指導主事から

- 「くすのきタイム」で児童が生き生きと学習に取り組んでいる姿が印象的であった。
- 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けて、「くすのきタイム」や「学びの地図」を学校全体で取り組んだことが一番の成果だと考える。実践したからこそ見えてきた成果や気づきが次年度の取組につながると思う。